公益社団法人ピースボート災害支援センター

事業名

東京在住/勤/学外国人のための防災教育教材の開発および防災研修講師人材育成事業

取組内容

東京で生活する外国人住民が地震や水害などの災害に備え、緊急時に適切に行動できるよう、研修教材を作成。オンライン研修と対面での研修及び共助の担い手の育成を狙いとしたコミュニティリーダー向けのオンライン研修を実施。

◆事業期間
令和７年４月１日～
令和８年３月31日

◆実績(人数・件数等)
①回答者延べ97名
②オンライン計４回、延べ71名
③対面3回で延べ26名

①外国人への災害に関するアンケートの実施（9月~10月、英語・日本語で実施）
②外国人向けウェビナーの開催（11月、地震編3回、水害編1回、英語で実施）
③対面ワークショップ3回、共助の担い手向けオンライン講座1回開催（3月、英語で実施）
④研修で扱った内容をまとめた教材を作成



3月7日の研修（ワークショップ）の様子

効　果

参加した外国人住民に、地震や水害への備え方、発災時・発災後に取るべき行動など、具体的な情報提供ができた。参加者は、災害時にコミュニティを支援する方法について理解を深めることができた。

事業を振り返って

国際事業コーディネーター　鈴木（スズキ）　郁乃（イクノ）さん

本事業を通して、参加者の災害への関心の高さを改めて実感しました。災害への備え、発災時の行動、被災した際の対応を具体的に示した研修内容に対する参加者の満足度は高く、継続的な研修機会の提供を望む声も聞かれました。今後は外国人支援団体や、留学生や外国人従業員を抱える団体などと共催での研修を検討しています。